

キンスポ

2輪専用サーキット
近畿スポーツランド
情報発信紙
冬号(第3号)
Tel(0774)88-3633
http://www.kinspo.com



2015
KSLガール
写真は2014
KSLガールです。

●モータサイクル
ショーでおあいし
ましょ〜♡
皆さん
よろしく
お願いします♡

トピックス

キンスポが大阪モーター サイクルショーに出展!

開業以来25年、四半世紀にわたって2輪モーターサイクルの底辺を支えてきた近畿スポーツランドがこの度、縁あって大阪モーターサイクルショー2015に出展することが決定した。この近年では、2007年頃をピークに年々減少しているミニバイクレーサー人口になんとが歯止めをかけたというのが今回の出展理由で、ミニバイクレーサーの普及の一環として、レースの様相を映像で紹介し、車両の展示やパンフレットの配布、興味がある方に丁寧に説明し、キンスポに来てもらうというところはもちろん、ミニバイクレーサーやライトバイクレーサーを認知してもらい、興味を持っていただくという事が一番の狙い!

ツーリンググライターや、以前レースしていた世代にカムバックの呼びかけ、バイク離れ世代と言われる若年層へのメツセージ、安全面、マナーや装備について、レースするには?あらゆる疑問に出来るだけこたえて行こうというのが狙い! もちろんKSLガールも登場し、花を添えていただく予定だ!是非インテックス大阪の近畿スポーツランドブースに足を運んでいただきたい。また隣にはルーツザ原チャリ・サテライトステージと全日本カブ耐久主催でお馴染みのカスタムイベント、はつぴいえんどプロジェクトさんで、タッグを組んで、あらゆるスタイルのライダーにアピールし普及に努める。

さあ、3月20日・21日・22日の3日間インテックス大阪でお待ちしております。



KSLガールも登場!



BOSCO MOTO レンタルギア

レーシングスーツ・ブーツ・グローブの貸し出しスタート!

ベリック・アレンネスブランドの購入を検討されている方で実際の着心地を試したい方初心者の方やレースを始めたいけど未だ購入されていない方一度サーキット走行を体験したい方、ツナギを修理中の方、ツナギを忘れた方、エンジョイ系レースに参加したい方、体験走行企画の参加者の方やツーリングイベントやレース体験イベントの参加者等々...お気軽にご利用下さい。詳しくはHPを!ご予約・お申込みは お電話で! 0774-88-3633



最終ラップゴールライン付近でこの差! 堪らずハルキが浮いている?



戦い終わった2人の清々しい2ショット 年の差は23歳! ;)



KSLガールも登場!



BOSCO MOTO レンタルギア

レーシングスーツ・ブーツ・グローブの貸し出しスタート!

ベリック・アレンネスブランドの購入を検討されている方で実際の着心地を試したい方初心者の方やレースを始めたいけど未だ購入されていない方一度サーキット走行を体験したい方、ツナギを修理中の方、ツナギを忘れた方、エンジョイ系レースに参加したい方、体験走行企画の参加者の方やツーリングイベントやレース体験イベントの参加者等々...お気軽にご利用下さい。詳しくはHPを!ご予約・お申込みは お電話で! 0774-88-3633



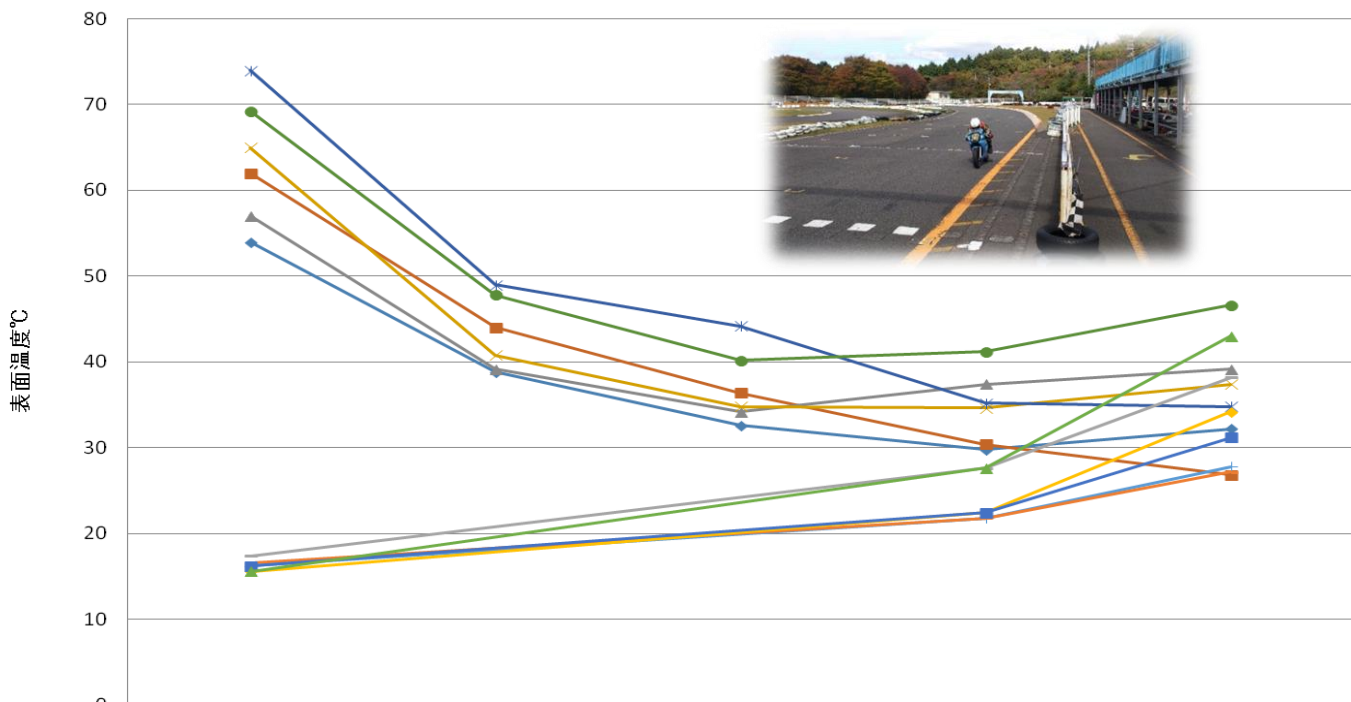
特集!

●タイヤウォーマー実験結果公表

一部のライダーの強い要望や意見もあり、タイヤウォーマーの禁止か否かでゆれた昨年。アンケートを取るなどKSLミニバイクロードレース主催、運営側は色々な観点から考え、結論を出した。昨年引き続きタイヤウォーマーの全面禁止という事にした。経緯を少しでも理解していただきたいとの思惑もあり、今回は前回の第1号公開のアンケート結果に引き続き、紙面にて公開させていただくはこびとなった。最終戦が終わって間もない11月3日車検長で、国際ライダーでもある高瀬敬次をテストライダーとして、タイヤウォーマーに関する実験を行った。天候晴れ時々曇り、外気温12℃、14℃、路面温度15℃、24℃と言ったコンディションの中、タイヤウォーマーを当てた場合のデータとウォーマーなしのデータを比較した。レース同様にウェイトリング待機時間、グリッド整理選手紹介、サイティングラップ、リースと実戦さながらの間隔をおき、各シーンでそれぞれフロント、リアのセンサーと両サイドの温度を測り、データ化した。また、レース途中の3ラップ目の温度をはかり、どれくらい違うのかを比較した。表の意味だが、Wがウォーマーありの意味で、Nがなしの意味、Fがフロントで、Rがリア、Lが左側でCが中央部分、Rが右側を示す。例 WFCならウォーマーありフロントタイヤ中央部分の温度となる。その他気温や空圧、天候変化や路面温度等も、その都度記録しているが、膨大なデータになるので、ここでは割愛させていただきますが、興味がある場合はお見せできるのでKSL和田までお問い合わせ。



タイヤウォーマー使用 不使用 12LAP 比較

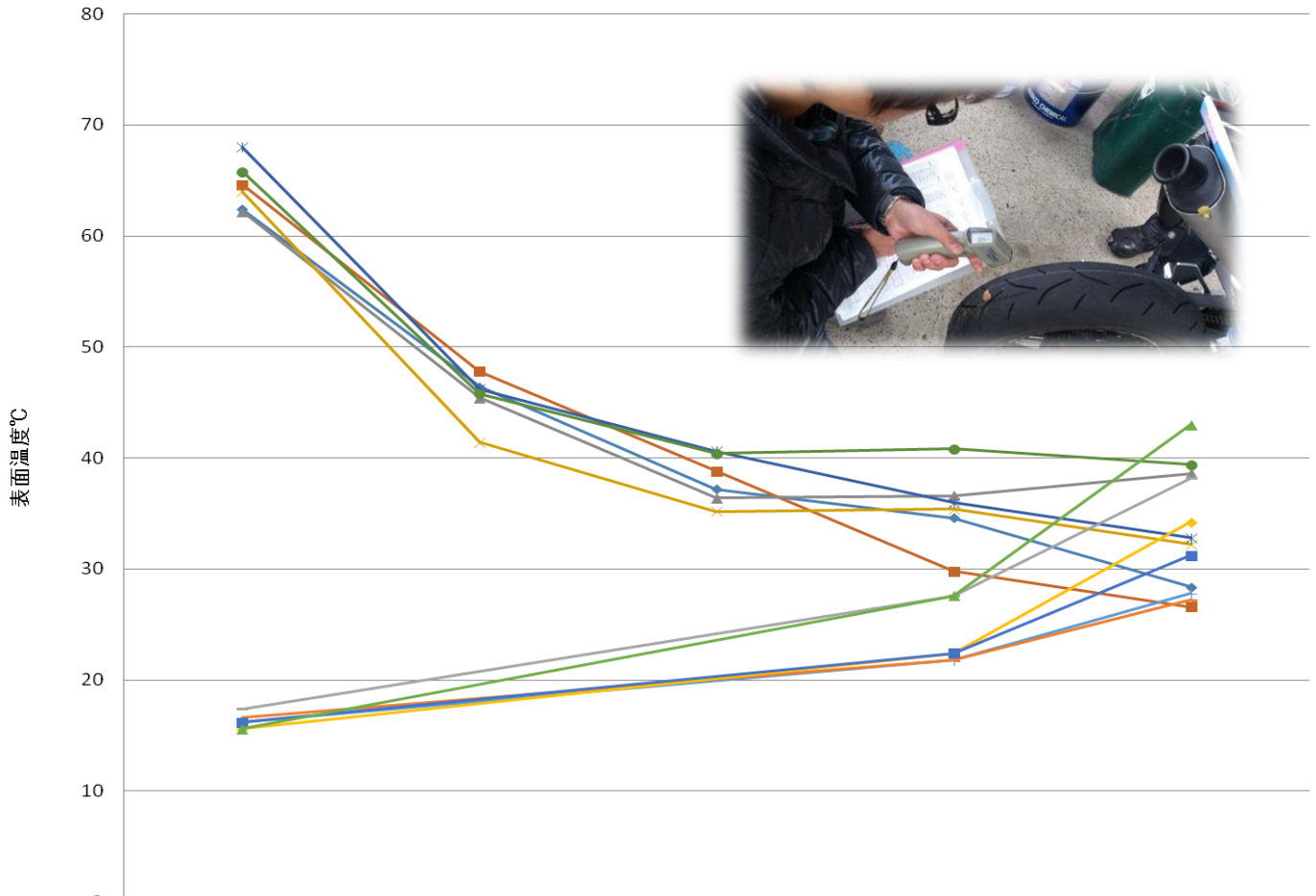


	ウォーマー装着後(なし)	ウェイトリング待機	グリッド整理 選手紹介	サイティング 2LAP	レース 12LAP
W FL	54	38.8	32.6	29.8	32.2
W FC	62	44	36.4	30.4	26.8
W FR	57	39.2	34.2	37.4	39.2
W RL	65	40.8	34.8	34.6	37.4
W RC	74	49	44.2	35.2	34.8
W RR	69.2	47.8	40.2	41.2	46.6
N FL	16.2			21.8	27.8
N FC	16.6			21.8	27.2
N FR	17.4			27.6	38.2
N RL	15.6			22.4	34.2
N RC	16.2			22.4	31.2
N RR	15.6			27.6	43

実験結果解説

上の表はレース想定12LAPデータで、ウォーマーを外した直後は表面温度は歴然で、ウォーマー有りは50〜70℃という高い温度を示している。なしの方はほぼ外気温程度だが、ウェイトリング(5分)やグリッド整理や選手紹介(4分)を激に下がり始め、約20℃を失っている。そして、サイティングラップ2周(※KSLミニバイクレースでは開幕戦と最終戦は2周)を終えた頃にはつまりスタート直前には約10℃前後の差となっている。これをどう見るかは個人それぞれだが、私たちの予想よりははるかに差がなかった結果となった。ちなみにウォーマーは約1時間発電機により本番さながら充分に温めている。12ラップをリースしながら43〜44秒で走り終え計測した時は、約2〜3℃の差となった。なしが上回った部分も出た。もちろん全体的にはウォーマーが有る方が温度は高いのだが、季節は11月だから夏ならば、さらに差がなくなる。ことが容易に想像がつく。次に次回に掲載されたデータだが、レース周回数3ラップ目に計測したデータだ。これでレース中どのようなペースで温度が上がるのかが分かる。結果は驚くべきものだった。夕方方が迫り気温が急激に下がり始めたので、あえてサイティング1LAPでの実験だったが、たった3周でウォーマーありも、なしもほぼ変わらない温度となった。つまり1周〜2周まで、タイヤがパフォーマンスを發揮できる状態となり、完全に差がなかったということが分かる。リアタイヤの右側ではウォーマーなしの方が温度が高かったというのも非常に興味深いデータだ。もちろん外気温や路面温度により刻々と状況は変化するし、一度だけの実験ではこれがすべてとは言えないが、最初の1周の部分ぐらいが、ウォーマーの意味かな・・・という結果となった。

タイヤウォーマー 3LAP 比較



	ウォーマー装着後 (なし)	ウェイトニング待機	グリッド整列 選手紹介	サイティング 1LAP	レース 3LAP
W FL	62.4	46.4	37.2	34.6	28.4
W FC	64.6	47.8	38.8	29.8	26.6
W FR	62.2	45.4	36.4	36.6	38.6
W RL	64	41.4	35.2	35.4	32.2
W RC	68	46.2	40.6	36	32.8
W RR	65.8	45.8	40.4	40.8	39.4
N FL	16.2			21.8	27.8
N FC	16.6			21.8	27.2
N FR	17.4			27.6	38.2
N RL	15.6			22.4	34.2
N RC	16.2			22.4	31.2
N RR	15.6			27.6	43

雑感

10年目の昨年、参加者からタイヤウォーマーを解禁してほしいとの指摘を受け、運営側も色々議論し、アンケートや実験に費用や時間を費やしてきました。OKと言えはそれまでの話ですが、敷居が低くレベルが高いレース。初心者も上級者若男女も楽しめ、熱くなれ、称えあえるレースを目指してきました。その中で、タイヤウォーマーを禁止することによって、費用面でもイメージ面でもより出やすくなることを目的とする意味で、タイヤウォーマー禁止してきました。時代とともにウォーマーや発電機の値段も下がり、普及率も増えたことも確かです。そのことも踏まえて今回の実験データーやアンケートを充分に勘案して、やはり今後も禁止の方向で運営させていただきます。解禁されないなら出ない。キンスポ杯はウォーマーが使えないから出ない等、常々色々ご意見いただきました。特にエキスパートと言われる方が多かったのですが、私から言わせていただければ、キツイ言い方ですがタイヤマネージメントもライダーの技量や力だと思っています。あらゆる状況の判断力や想像力、日々の鍛錬、技量、運、車両の性能等あらゆる総合力が高い人が勝っていると思います。だからウォーマーがないとレースできない(したくない)危険だというのは、少し極端すぎるのでは？

また、お断りしておきますが、何もウォーマーがよくないとか使わない方がいいとか、そついうことを言っているわけではありませんので、誤解のないようお願いいたします。もちろん1周目からあたたまっていれば安心ですが、このデーターを出来れば参考にさせていただき、レースに挑んでいただければ望外のよることです。

近畿スポーツランド 田中康彦



リトパ杯 各クラスレポート

●ジェネレーシヨンクラス

今年度よりスタートした40歳以上のライダー限定のクラス最終戦も12台ものエントリーで盛り上がった!

3番グリッドから34番渡辺が飛び出し、レースを引っ張るが、グリッドは年齢優先のこのレース!序盤はめまぐるしく順位が変わり、2周目には27番の熱きリーニンチ中年!第前田がトップに浮上したが、翌週の1コーナーで、45番ハミンのザビエル2号(本名は前田)が前田を捉え、なんとトップに前田前田という邊オコソビのよう前田状態に...そこに割って入ったのが9番グリッドスタートの鈴木、後に決勝を控える子供たちに手本となる走りを見せるべく、奮起!逃げるザビエルを追う。4番手のミスター!ポボも2コーナーでザビエルのインに飛び込み、見事に決まり、このままスタートで最終戦は鈴木が見事に優勝!2位にハミンのザビエル!3位前田が入った。それ以外にも3戦目にしてかなりハイレベルなジェネレーションになり、それはそれで素晴らしいのだが、ジェネレーションの趣旨と少しずれてきそうなので、今年度は少し制限タイムが変わる予定です。2015も熟年ライダーの熱き走りに期待しよう!



優勝 鈴木正紀



2位ザビエル2号



3位 前田 潤

●74クラス

特別開催クラス74決勝

ポールスタートの37番岩田と34番豊田の1騎打ちとなった。オープニングは豊田が制するも、2周目には岩田がトップに立つが豊田も激しく岩田に食らいつつ正しくドックフアイトが繰り広げられた。少し離れて3番手は岡村が単独走行駒水、豊田と続くそして最終ラップ岩田が接戦を制し、見事優勝、豊田は惜しくも2位フィニッシュとなった。



優勝 岩田凌吾



●ルーキークラス

最終戦は8台のエントリーのルーキークラス、老若男女バラエティー豊かなライダーが顔をそろえた。長船がエンジンストール大きく出遅れてしまう。ポールスタートのRSハミノン岡村がいいスタートでオープニングラップを制するが、2周目の直線800ccのリングマンが直線で並び、1コーナーでトップに浮上! 岡村選手コーナーで詰めるが、直線で話される苦しい展開に...このレース女たちの戦いの注目!どちらも新婚さん、「いらっしやい!」河田選手、中本選手の幸せ対決が3番手争いを展開中で、どちらが幸せかを争う形になった。そして婦人会の小野選手

最年長生田選手、若手の八木選手などほんとに参加ライダーバラエティー豊かなクラスである。さて、レースはそのままリングマン選手が優勝、岡村選手2位そして新婚対決は河田選手が見事3位に入った。



優勝 リンゴマン



2位 岡村清治

●Moto4クラス

今年から始まった次世代のメインクラス Moto4クラス!

4ストローク車両のみで争われるチャンピオンシップクラスの登場だ。後藤、土橋が第2戦でリタイアし、チャンピオンの行方が益々分からなくなった。初代チャンピオンは誰の手に? 第2戦優勝の布施川が大手を賭けたこのレース、それだけに緊張が伴う。ポールスタートの四国のジュニア、広瀬が好スタート! ホールショットからオープニングラップを制す。以下土橋、後藤、田村、布施川と続くが3周目にトップ広瀬がなんとリトパ進入で痛恨の転倒! リタイアとなり、土橋がトップに浮上した。2番手後藤が土橋に猛チャージを仕掛ける! 1コーナーで入るも2コーナーで刺し返される手に汗握る展開に場内も大いに盛り上がる!最終ラップ何とか土橋が逃げ切り、見事優勝! 2位後藤、3位ベテラン田村、4位に布施川が入り、自身初! 初代Moto4チャンピオンに輝いた! おめでとう! 5位に超ベテラン森本、6位中川となった。年間3戦のこのレース、1戦でもリタイアする大きな痛手となる。2015のチャンピオンは? 今年も楽しみだ



優勝 土橋亮一



2位 後藤憲治

●M-Fクラス

16台ものエントリーを集めたM-Fクラス激しい戦いが予想される。レーススタート! オープニングラップを制したのは、イエローのマシードンデンジャーゾーン長塚選手、2番手はなんと女性ライダーの石川県から参加の山本選手が続き、3番手はデンジャーゾーン吉川選手以下若手走り屋風...ハリガネ君こと越谷、こちらもデンジャーゾーンの伊藤、榎原奥さまと続く展開。

3周目1コーナーで、山本選手が見事なブレーキングを見せてトップに浮上! 各コーナーで激しい戦いが繰り広げられ、トップを守りきった山本選手が見事に1位でチェッカーを上げるも、名譽の賞典外タイムを記録! 2番手の長塚選手も同じく、ハリガネ君事越谷選手も同じくということになり、見事優勝は、デンジャーゾーン吉川選手、2位同じくデンジャーゾーン伊藤選手3位榎原奥さま、4位に野寄選手となった。コンディションが最高な日とで、路面温度が上がり、好タイム連発となった。



優勝 吉川明史



2位 伊藤春昭



4位 野寄真史



3位 榎原香織



●MNクラス

15台のエントリーを数えたMNクラス決勝。ベテランやジュニア、若手と注目の選手も多いこのクラス。スタート直後、予選7番手の松村が、激しく転倒し波乱の幕開けとなった。ホルの後藤田が大きく出遅れ、元KSLオフィシャルクラブOBの大林がトップ2番手に山極、3番手17インチの永田、以下田中、村上と続くトップ大林がアドバンテージを広げ、2番手の山極が追っ展開したが、激しいのは3位争い2周目にはエイブの田中が3番手に浮上する。4番手永田、5番手村上と言った展開だが、各コーナー直線いたるところで拮抗した激しいバトルが繰り返される中、終始安定してトップを走りきった大林が見事に練習の成果を発揮し優勝！2位に若手の山極、3位は田中激しさを極めた4番手争いを制したのはジュニアの後藤田だが、なんと賞典外タイムとなるが10番手あたりまで落ちたのを撒き返した事は素晴らしい。代わりに4位に入ったのは、カムバックレーサー・静岡から参加の莞レーシングの大野(おおのし)が予選10番手から見事4位入賞を果たした。

優勝 大林義紀



2位 山極光士



4位 大野和哉



3位 田中孝寛

●SP&SP4クラス

今回は4台と少し寂しい台数でのレースになったSPクラス。いつもの近スポメンバーに新しくMEXで活躍していた女子高生ライダー・田村選手がSP4車両にて参戦してくれた。レースは、予選2番手のとりおギヤフスキー選手が抜群のスタートを魅せ、ホルシヨトを奪ったかと思われたが、プレレキングでUNO選手に並ばれ、ホルシヨトはUNO選手が奪う。とりおギヤフスキー選手も負けじと2コーナーでUNO選手にインに捻じ込むが痛恨のオーバーランを喫してしまう。その隙に野崎選手にも抜かれ3番手に転落。ミスを挽回しようとしてブジッをし、4周目1コーナーで野崎選手を捕え2番手に浮上するも野崎選手も負けじと翌周に抜き返し、激しいバトルを繰り返した。その間にUNO選手に逃げられTOP2チェッカーを受け見事チャンピオンを獲得した。SPクラス初参戦の田村選手となった。



SP & SP4 優勝 UNO-P

●Mクラス

最終戦の最多台数タイの16台のエントリーがあった。上位3台にはMEXの挑戦権があり、ジュニア&若手&ベテラン、車両もNSTF&NSR&APE&NSOR、そしてM系では初参戦のカワサキKSR600もあり、激戦のクラスである。Mクラススタート勢良く飛び出したのは予選2番手の愛知の馬場選手、ヒタリと徳島のジュニア野村選手が後ろに張り付く。後続を少し離し、2人のマッチバトルになりそうな予感の矢先、序盤からいいペースで走行の馬場選手がクランクの進入で転倒を喫してしまう。縁石を乗り越えコース上にマシンが出てしまったが、後続の車両は全車、無事にクリアしていった。しかしこの転倒でコース上にオイルが出た為、赤旗中断となってしまう。オフィシャルの迅速な対応でコース清掃が終わり、8周でレースの仕切り直しとなった。レースでも、成長著しい野村選手が後続をどんどん引き離す。以下小島選手、前田選手、田村選手、柿本選手、布施川選手と続く。3周目に17インチ車両の前田選手が小島選手と1コーナーで捕え2番手に浮上り2位争いは5台の集団になり、ファイナルラップには4番手に付けていたベテラン田村選手が3コーナーで転倒。い所に付けていただけに非常に残念である。群雄割拠のMクラスを制したのは、見事ホルTOWインを決めた野村選手が優勝。2位は17インチ車両で見事な走りを魅せた前田選手、3位はハミン小島選手、4位に柿本選手となった。

優勝 野村 唯人



2位 前田 潤



3位 小島 歩



4位 柿本優



●FP4&FPクラス

今回も特別開催での開催となるスクーター125ccを使ったレース近年盛り上がりを見せているクラスだが、近スポでは6台のエントリーながら、一流選手が集まり、激しい戦いが予想される。某雑誌主催のレースでこのクラス日本一になった、予選から好調の民谷選手がホルシヨトを奪い、逃げ切りを計る。逃がすまいと、神奈川県から遠征の島村選手、死神選手、大津選手と続く。4周目に、クランクでミスをした車速の伸びない死神選手を最終コーナーで大津選手が捕え3番手に浮上する。しばらく膠着状態が続くが、2番手に付けている島村選手がチャンス伺っている。レースが動いたのは、10周目の2コーナーで島村選手がTOP民谷選手のインに入るも、すくさまクロスラインで民谷選手が抜き返す。ファイナルラップに入り、今度は1コーナーで島村選手が仕掛けTOPに浮上するも、2コーナーで民谷選手がインに捻じ込みTOPに返り咲く展開になる。一番の見せ所であるリトバコーナーで島村選手が最後に仕掛けるが、絶妙なライン取りでTOPを守り切った民谷選手が優勝。2位に島村選手。3位大津選手となった。



優勝 民谷 賢司



2位 島村 勝

●キッズ

子供たちの熱き戦いキッズクラス。今回は6台のエントリー・チャンピオンシップ争いランキング2位の藤井選手がなんと、お父さんの仕事の都合でどうしても来れないという事で不参加となってしまった。これで少し佐藤選手はプレッシャーから解放されたか？ レースは、ランキング3位の堀井選手が抜群のスタートを決めホルシヨトを取る。堀井選手と佐藤選手のシリースポイント差は10ポイント差しか無く、佐藤選手に何かあれば逆転チャンピオンも夢ではない。しかし、キッズクラスの先輩である佐藤選手は落ちていた。2周目の1コーナーで堀井選手をパスするとスタートを上げ、アドバンテージを広げていき、そのままゴール！ 見事、優勝でチャンピオンを獲得した。2位は堀井選手、3位鈴木選手、岡村選手、長内選手、北氏選手の順となった。



2位 堀井 颯太



優勝 佐藤 まお

NSF100HRC7D71

全国屈指のレベルのキンスポ ポイントリーダーの神原がチャンピオンに大手 第2戦で転倒してしまつた土橋、後藤が追つ展開、伊藤等ベテランの強者に加え、愛知県勢の毛受(めんじよ)、馬場、ジュニアの野村など非常に楽しみなレース 熱戦の火蓋が切つて落とされた。 抜群のスタートで、ポイントリーダーの神原がホーシヨット! それと同じく愛知県勢毛受が神原をマーク、3番手後藤、4番手土橋、野村、Mで車面を破損してしまつたが、なんとか決勝に間に合わせた。馬場と有力選手が上位を占める。毛受が神原を激しく追いつたがそこはベテラン神原うまく毛受を受け流す展開だが、毛受は決勝中にコースレコードを樹立する素晴らしい走りを見た。6周目に土橋は宿命のライバル後藤をかわし3番手に浮上するが、レースは神原の完勝で、自身キンスポでは2度目の年間チャンピオンを獲得した。2位に毛受、3位土橋、4位後藤、5位にジュニアトップで野村が入った。

優勝 神原浩一

2位 毛受元樹

3位 土橋亮一

4位後藤憲治



●OPクラス

OPクラス決勝! 今回は5台のエントリーがあり、レース成立にはつと胸をなで下ろす主催者であった。予選ポールのミスターポポがホールシヨットから逃げる展開 我らがJヒゲ社長事、ジューハットレーザーハウス岩倉選手が2コーナーで転倒し、そのままリタイアとなつてしまった。残念 レースは終始ミスターポポがトップでチェッカーを受け、2戦連続優勝! チャンピオンに輝きたかつたのだが、第1戦不成立により、年間チャンピオンシップとして、成立しなかつたので、残念ながらチャンピオンにはなれなかつた。申し訳ないヨ(´Д｀)

優勝 ミスターポポ

2位 大橋正幸



●FN4&FP

最終戦は10台のエントリーがあり、にわかには盛況なこのクラス 派手目のFP4-1STにおさればつなしたが、月見草のようにほのかに咲き誇るクラスであり続けたものだ(笑) さあ、チャンピオンに大手は無段変速機の神民谷賢司と我が死神博士の同ポイント対決に注目が集まる。 2ストFP車両で愛弟子を仕留めるか? 死神博士! ぞして3番グリットは広島島の三浦だ。 ホールシヨットはやはり民谷が奪つが、2番手はなんとVJRの中尾、3番手に三浦、以下藤田、死神、リトバー、矢部と続く・・死神大きく出遅れ、巻き返しを図るが、2周目リトバ痛恨の転倒! 最下位まで順位を落とし、チャンピオンが大きく遠のく。 民谷は順調に逃げ、危なげない展開。 2位争いは中尾、三浦の競り合いになる。 中盤ペースの上がない中尾を三浦がなんとクランク侵入でかわし、2番手に浮上した。 4番手争いもは藤田と矢部が激しいバトルとなる 一時矢部がクランク侵入で藤田をかわすも、藤田が再度4番手に返り咲く。 レースはやはり次元の違つ走りを見せた民谷が優勝でチャンピオンに輝いた。 2位にFP車両の三浦が入り、嬉しい表彰台を獲得3位は中尾が入賞した。

優勝 民谷賢司

2位 三浦康大

3位 中尾伸長



●MEX

いよいよ最後のレースMEX決勝! 一〇年目最後のハイエンドクラス決勝! キンスポ名物のこのレースは、過去一〇年で数々の名勝負が生まれ、名選手も迷選手まで数々のライダーを育てた。2015からは、新たに、MIGPという名称になる。 さて、ホールポジションは予選タイム41秒862(一人41秒台を記録した我が番長! UNOP☆) として、キンスポ史上最強ジュニアで、2014チャンピオンのハルキ! 2人のチャンピオンポイント差もたったの2ポイント差で正しく天王山対決! ハルキが番長を倒し2年連続チャンピオンとなるか? それとも番長UNOPが再び王者に返り咲くのか? 親子でもおかしくない年の差の2人のライダーがプライドをかけて闘つ! 「この一番は俺だ!」と 黄昏時を迎え始めたKSLで言と赤の激しい火花がぶつかり合った!

1コーナーに付きホールシヨットのハルキしかし、イン付きが速すぎたのか? 2コーナーでUNOPにアウトから被せられ2番手に、3番手にはなんとジュニアの細谷がいい位置に付けた。以下と、野崎、クリスタルそしてNSFで参加の神原、初参加の小林と続く2周目に細谷のペースが上がらず大きく順位を落としてしまい、その間にトップの2台がグングン先行する展開に 第2グループはとり、クリスタル、野崎の競り合いになつたとロフイー仕様のNSFでベテランの神原も加わり、4巴の展開になる。 それにしても最終戦の神原の速さは尋常ではないレベルに達していた。 3周目1コーナーで細谷が転倒し、悔しいリタイアとなるが、2015楽しみなジュニアがまた一人増えた。後方ではジュニアの広瀬、女性ライダーの伊藤、徳島のジュニア野村が激しいバトルを展開している。さてトップ争いにはUNOPにハルキがピタリとつけ、膠着状態の中、レースが動いたのは後半に入った6周目に1コーナーでハルキが前に出た。 今前に出る事が、はたして得策か? かけ引きの面でも若さが出たか? それともUNOPの作戦なのか? 次の周回は、ジャブを打つかのよつにUNOPが1コーナーに入るが、すぐにハルキが2コーナーで抜き返す展開 その次の周回もおなじ展開に・・・ ハルキトップでどんどん残り周回数が減つていく、UNOは何処で動くか? 正しく心理戦の様相だ。ラスト2周で仕掛けてスパートか? それともファイナルラップか? 3位争いはクリスタルを先頭に、とり、野崎、の3つ巴にベテラン勢の神原、小林が追いついた形で5つ巴の非常に見応えのある展開なのだが、トップの2人から目が離せない状態! そして運命のファイナルラップ! UNOPが動いた! 予想しているハルキはインを警戒気味のラインを取るが、アウトのUNOに気を取られ、少し見た瞬間にUNOPはインに飛び込む! 抜かれまいと気を取られているとスズンと1コーナーが迫ってくる! (7面に続く)

ただでさえ限界に近いスピードで走っているのに、ハルキがコーナーに対応するのがほんの少し遅れたのだ。2コーナーも正しくドックフアイト！UNOもインを巻く。ハルキの才能を知る番長も、全く余裕はないのだ！3コーナー、クラックと決して前に出ずまいラインでUNOが先行！何とかねじ込もうとするハルキ！残りコーナーが少なくなってくるぞ！リトパ出口でハルキのリアが少しスライドしてしまっただけで、万事休す！マシオン半分もない僅差でUNO-Pがトップでチェッカー！自身9回目のハイエンドクラスチャンピオン返り咲きとなった。3番手走行していたクリスタルがなんとファイナルラップで転倒し、野崎が3位表彰台を獲得！これも来年に向けて素晴らしい成果となった。今回もキンスポ林史上に残る名勝負だった。ライダーの頑張りに感謝し感動と興奮のレースが何時までもこの国、いやキンスポに残る事を願います。レポートを終了させていただきます。長文失礼いたしました。

優勝 UNO-P ☆

2位 桒口ハルキ

3位 野崎亮介



●番外編
お昼に開催された第1回(最終回)全日本ピザテリバーバイクタイムトライアル選手権はフリーザ選手がチャンピオンに輝いた

第1回(最終回)全日本ピザテリバーバイクタイムトライアル選手権

順位	ライダー氏名	タイム
1	フリーザ	32.837
2	奥田潤	32.945
3	奥西章太	33.391
4	榊原浩二	33.689
5	松村健介	34.233
6	楠本啓伍	34.263
7	伊藤春昭	34.336
8	八木智寛	34.651
9	松村裕基	34.985
10	不破龍臣	36.207



御礼

今回を持ちまして株式会社日本医療(ピザリトルパーティ)様の冠協賛のレースは満期終了となります。的羽社長はじめ社員の皆様、長年にわたり、末端のモータースポーツ運営にご理解ご協力いただきました事を心より御礼申し上げます。また、開催にあたり尽力を尽くして下さいました。栄光様、リトパ電网店、彦根店、城陽店のオーナーの皆様、本当にありがとうございます。この場をお借りして深く、深く御礼申し上げます。これからも何卒、ご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。

近畿スポーツランド 代表 田中 康彦

●2014 シリーズチャンピオン インタビュー



左から Moto4 布施川澄 Kids 佐藤まお FN4 民谷賢司

M-EX/SP&SP4 宇野正弘 (UNO-P) NSF100HRC トロフィー榊原浩

■M-EX・SPチャンピオン宇野正弘 (UNO-P) インタビュー

2014は、何と云うか自問自答を繰り返してどうすれば一番良い状態に持って行けるか考えて、出来る事全てを実行して得たチャンピオンだったと思いますね。メモ用紙に考えた事を書き込む事が多くなったのと、白髪が何気に多くなった気がします(汗) 今までと違ったやり方や新しいパーツを取り入れたりしたのも勝利に繋がったんだと思います。自分でエンジンのOHをするようになった事もいい勉強になっているし、今では他のライダーのエンジンのOHもやっています。今年は今までは違った仕様になったので、自分の適応能力を高めて更なる進化に繋がれるように頑張ります。



■NST100HORRORトローフィーチャンピオン 榊原浩一

開幕前に嫁の練習に付き合いますがりますますの手応えを感じていたのですが路面コンディションの変化に対応できず、辛うじて3位、第2戦迄に練習に通いまくりの、エキバな方々や、タミケン、おおつちゃんに揉んで頂き、なんとか残りの2戦勝つ事が出来チャンピオン採れました。最終戦はみんな調子上げて来ていたので連覇阻止されない様に頑張ります。



■FN4&FPチャンピオン 民谷賢司

※コメントが残念なので、FBでのインタビューをそのまま掲載させていただきます。
挑戦者求む。エントリー者はタート用 JCS の試乗無料 要走行料(とウツスカ?)
真面目にー!

ありゃ。結構真面目に書いたつもりでした 笑 方向性教えてください。
チャンピオンになった喜びとか今年の抱負とか、感謝の気持ちとか、台湾へ嫁探しとか

上のやつ(今年の抱負)に使えませんか?じゃあ、2015年も熱く濃く、活発に参戦するんで、明日はキンスポ走れそうですか?



■Moto4チャンピオン 布施川 澄

「人と運に助けられながら、この結果をありがたく思います。尊敬するライダーさん達に一步でも近づけるように、良いレースが出来るように心を向上させていきます。」

そして、微力ながらミニバイクレースを楽しむ人が増えるようなお手伝いできればと思います。最後に、エンジンを組んでくれたティコフパワーズさん。レースに応援にきてくれた友達に感謝です! 今年もどうぞよろしくお願いします。



■Kidsチャンピオン 佐藤まお

来年も大人のクラスが一番速いエキスパートクラスでがんばります。今年もキッズもがんばります。



KINSPO RACING PHOTO SERVICE
近スポレーシングフォトサービス!!

近畿スポーツランド杯写真販売

プロレーシングカメラマン
大西としや



プロカメラマン大西としや撮影の
キンスポ杯の写真を販売中(エンタラント向け)
写真は全てヘルメットのロゴまでパッチリプリントの合ったものをセレクトしています。

☆北川圭一 杯 第10回記念大会

●大盛況のうちに終了！

昨年12月7日(日曜日)かなり寒い一日だったが、2003年から開催されている北川圭一杯が第10回記念大会として、盛大に開催され、66チーム 164名のエントラントが各2時間耐久レースに挑んだ。エンジョイ系ライダーのためのタイム制限クラスのエンジョイAクラスは、YRCリベンジが優勝、Bクラスは父と娘で参加の井上家、C同様が優勝し話題を呼んだ。ミドルクラスのB耐久は壽レーシングが優勝。制限なしのA耐久はGripアルターナレーシング、SPクラス真加部レーシング、OPクラスはJ-T R I Pが見事に優勝した。お昼のアトラクションには、ススキ契約ライダーの津田拓也選手の準でのデモランや一磨選手の参加、そしてレジエント北川圭一のサブプライズデモランがあり現役時代の北川圭一を彷彿とさせる走りに会場は歓声に包まれた。表彰式やじゃんけん大会まで本当に盛り上がった一日となった。

2015年第11回大会も12月6日に開催予定なので、是非参戦計画にいられていただきたい。



新シリーズ飛翔

(若人よ！時代は厳しいがなんとかはばだけ！) Vol.1

キンスポで練習やレースに励みロードレースに挑戦するライダーを紹介するコーナーです。記念すべき第1回は古澤幸也君です。

- 氏名 古澤幸也(ふるさわ ゆきや) 19歳 国際A級ライダー
- 京都府出身、京都文教大学1年生
- 所属チーム FLEX Racing TEAM
- クラス JIGP3
- 2015全日本RRにフル参戦決定！

●ご紹介

小学生から74でほぼキンスポオンリーでミニバイク活動していた。ゆっきー事、古澤選手 ミニバイク師匠は番長UNO-Pで、自身キンスポ杯で、師匠を破り優勝したこともある。幼少期から礼儀正しく、優しい好成年で、誰からも好かれる半面、自分に厳しく、常に鍛錬を怠らない。KSLは彼のさらなる活躍を心から願う。今年は参加から、戦うレースを見せて上位を目指してほしい。はばだけ！ゆきや！

●本人コメント

今年は今全日本選手権にフル参戦することになりました。 去年の全日本スポット参戦、鈴鹿8耐参戦の経験を活かし、良い成績を残せるようにします。皆様応援宜しくお願い申し上げます！ いつも近畿スポーツランドでは、Mクラス・SPクラスのマシンに乗って練習をしています。 ロードコースに比べて、多くの練習時間が取れるので、走り込みはもちろん、改善点を一日かけてじっくり直すこともできます！

2010年HPトップ



鈴鹿8耐にて 写真 大西としや

●ルーツ開幕戦！！3月29日（日）

2015のレースシーズン開幕戦は
もちろんルーツ！
旧式・低馬力の祭典！！
老若男女入り乱れてのエンジョイレースの決定版！
現役開催ミニバイクレース最長記録更新中！？

エントリーはお早めに

詳しくは 下記にアクセス
カスタムペイント&レース

はっぴいえんど プロジェクト公式HP

<http://www1.kcn.ne.jp/~happyend/>

第1戦 4月19日（日）開催！

「小西記念 近畿スポーツランドミニバイクロードレース」
仁義あふれるライダーたちの仁義なき戦い！

- バトルウォーズクラス新設！
- M系4クラスが名称変更！
M-GP・M1・M2・M3
- CBRドリームカップ開催！（E/B）



スプリントレースしませんか？

☆ネット・現金書留・事務所

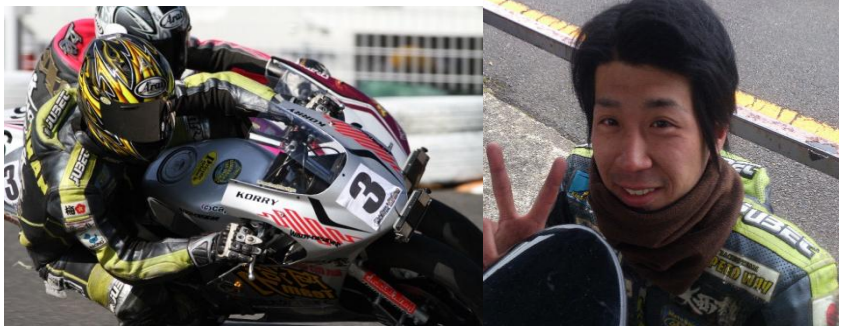
エントリー受付中！

近畿スポーツランド公式ホームページから
エントリーできます！

ホームページ <http://www.kinspo.com/>



キンスポ杯 ライダーファイル VOL6



プロフィール
 氏名 野崎 亮介(ノザキ リョウスケ)
 通称 カタコリ・コリー・コリちゃん
 年齢 25歳
 趣味 ミニバイクレース
 職業 会社員
 好きな食べ物 エビ(但し、えびアレルギー)
 特技 内緒話! 甘え! うわべだけの優しさ(笑)

●純正キンスポE Xライダーの一人、 ゆとりなきゆとり世代で、最近グングン急成長をとげ、2014シーズンは最終戦、クリスタル、とり、との3つ巴バトルに勝利し、宇野、ハルキに続く3位表彰台を獲得し、名実ともにキンスポE Xライダーとなった。若さもあるので、今後キンスポを代表するライダーに成長することに期待!



タワーから操作でき、後方グリッドでも非常に見やすいハタデシグナル

☆スタートシグナル設置 ●ハタデシグナルと命名される。
 ホームストレートに新たにシグナルが設置された。これまで日章旗オンリーだった。キンスポに強力なアイテムが追加された。赤、黄、赤のパターンで、フルコースイェロや、赤旗中断などにも対応でき、スタート赤消灯になる予定。今回設置に当たり、社長自らミニバイクを愛してくださるハタデシグナル『株式会社 ハタ電気工事』様に多大なるご協賛、ご協力により実現した。 本当にありがとうございました。

編集後記 やっちゃんの独り言Z Vol.3
 皆さん遅ればせながら・・・本年も宜しくお願ひ申し上げます。また、1月中旬に3号を発売したかったのですが、遅くなりまして申し訳ありません。さて、シーズン開幕も間近ですが、キンスポにはロードレースにステップアップするジュニアや若手のライダーもいて、皆さん準備等に追われている昨今だと思えます。常に上を目指して頑張ってほしいなあと思う今日この頃です。
 さて、ロードもそうですが、ミニバイクでも装備や部品やその他色々な企業や個人様がライダーを応援して下さいと思っているのですが、ここで、皆さんに気をつけてほしいのが、不義理なことをしないで下さいということなんです。そんなことするくらいなら、応援や、協賛を受けずに自分の金で頑張ってください。そもそも自分の趣味に他人がお金や物をくれると言っているのは、かなり特殊な世界です。私も長年魚釣りをやっていますが、メーカなどからスポンサーをもらえる人なんて、極、極ほんの数人です。この業界、特にミニバイクの人を見ているとその辺がかなりありまいだなぁと感じます。そしてトラブルになる話も仕事柄よく耳にします。一番多いのが意識の違いです。割引を受けたが、お金で買ったから問題ないなど・・・以前使っていた商品のおかげ、一般人ではありえない割引や特別な事をしてもらっているにもかかわらず、競合他社が無料でくれるから・・・とかがです。プロの世界なら契約と色々あるのですが、ミニバイクはプロスポーツではありませんが、そのあたりがあいまいでトラブルになるようです。事実、私も数年前にあるライダーが練習料金をサポートしてほしいと言ってきた、承諾・・・殆ど来なかったのですが、その後、何の報告もなく競合他社のサポートを受けてPR活動していた奴があり、凄く心外でした。意識の違いでしょうが、その辺のことは信頼関係で成り立っている分、食い違つと非常にややくいことになりまので、ライダー自身仁義をちゃんと重んじ、他社に変わらざる得ない事情が出た時は真摯に先方に話をし、受けたものをお返しするぐらいの心づもりでいて下さい。それが出来ない人は、速いからって、調子に乗っているとえらいめに会いますよ! 自分の趣味の金は自分で出すこれがミニバイクいや色んなことのあくまでも基本です!では、次回第4号でお会いしましょう! あっ!いちびつて、モーターショーに出展します。よかつたら是非お越してください お待ちしております。 ヤスヒコ

(^o^)/なれるより習え! KSLライディングセミナー 受講生募集!!

